

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

[A] 年、[①] 天皇が都を平安京に移してからおよそ400年間は平安時代です。平安時代のはじめ [①] 天皇から嵯峨天皇のころまでは、天皇の力が強い時代でした。[①] 天皇は [②] を東北地方に派遣し、蝦夷を平定しました。

9世紀半ばになると、藤原氏が [あ] によって実権を握り始めます。そして [B] 年に、[③] が3人目の娘を天皇の後とし、藤原氏の権力が最大となりました。

藤原頼通のころには、藤原氏の影響力が薄い後三条天皇が即位し、[C] 年には [④] によって [い] が始められました。

また、平安時代を通して少しずつ武士の力が強まっていきました。10世紀の初めに地方で反乱が起こり、鎮圧に活躍した武士が京都に進出すると、京都が戦乱の舞台となりました。これに勝利した [⑤] が [D] 年に、武士として初めて太政大臣となりました。

(1) [A] ~ [D] に入る数字の組み合わせとして正しいものを、次のア~エから選び、記号で答えなさい。

- ア A=794 B=935 C=1016 D=1185
イ A=710 B=1016 C=1086 D=1156
ウ A=794 B=894 C=1086 D=1159
エ A=794 B=1016 C=1086 D=1167

(2) [①] ~ [⑤] に入る人名を答えなさい。

(3) [あ]、[い] に入る言葉を答えなさい。

(4) 蝦夷を平定について、このとき [②] の人物に敗れた、蝦夷の指導者の名前を答えなさい。

(5) 地方で反乱について、次のア~エの文章から内容が正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 平将門は瀬戸内海で反乱を起こした
イ 後三年の役の平定に源義家が活躍した
ウ 藤原元命が尾張国で反乱を起こした
エ 藤原純友の乱の平定に源義朝が活躍した

(1)	(2) ①
(2) ②	(2) ③
(2) ④	(2) ⑤
(3) あ	(3) い
(4)	(5)

- (1) 平安京遷都は794年、藤原道長が「この世をば」の歌を詠んだのが1016年、白河上皇の院政開始が1086年、平清盛の太政大臣就任が1167年です。
 選択肢の710年は平城京遷都、894年は藤原道長による遣唐使廃止の提言、935年は平将門の（承平の）乱、1156年は保元の乱、1159年は平治の乱、1185年は壇ノ浦の戦いなどです。
- (2) 平安京に遷都した①は桓武天皇です。桓武天皇によって蝦夷平定に赴いた②は坂上田村麻呂です。摂関政治の全盛期を導いた③が藤原道長、院政を開始した④が白河上皇です。武士として初めて太政大臣となった⑤は平清盛です。
- (3) あには藤原氏の「摂関政治」、いには白河上皇の「院政」があてはまります。(1)～(3)まで、変化に富んだ（といっても400年も続くのですから当然ですが）平安時代の政治についてその変遷を理解しておきましょう。
- (4) 坂上田村麻呂と戦ったのは阿弖流為（アテルイ）です。正誤問題ではシャクシャインがよく出てきます。
- (5) アは平将門が関東地方、藤原純友が瀬戸内海ですから誤りです。
 ウの藤原元命は尾張国国司として重税を強いたことが尾張国郡司百姓等解文に残された下級貴族で、反乱は起こしていません。
 エの源義朝は平治の乱で清盛に敗れた人物で、源頼朝の父親です。藤原純友の乱の平定には小野好古（百人一首に歌を残す参議篁の孫）が活躍しました。

(1) エ	(2) ① 桓武天皇
(2) ② 坂上田村麻呂	(2) ③ 藤原道長
(2) ④ 白河上皇	(2) ⑤ 平清盛
(3) あ 摂関政治	(3) い 院政
(4) アテルイ（阿弖流為）	(5) イ